



## 自社の価値創造を投資家に伝える

“真の統合思考”に基づくステークホルダーへの  
レポートを実現する統合報告コンサルティング

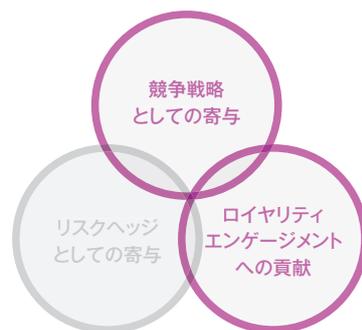
### “真の統合思考”に基づくレポートが 求められる理由とNRIの統合報告コンサルティング

日本では、統合報告書の発行数が年々増加し、さらに近年は、報告内容の高度化が図られるようになってきました。統合報告の真の狙いは、“企業における統合思考、すなわち財務・非財務資本が企業経営と組み合わせることで長期的にどのような価値が生まれるのかをストーリーとして認識すること”<sup>\*</sup>とされています。つまり、自社が『長期的に価値を創造し続ける能力を持つ』ということを投資家に明確かつ効果的に伝える必要があるのです。

日本企業のなかには、未だ財務・非財務のつながりが十分に整理・体系化されておらず、統合報告以前に統合思考自体が形成されていないといった問題が見られます。NRIは、“真の統合思考”に基づく統合報告の実現を目指し、クライアントをサポートします。

<sup>\*</sup> IIRC (International Integrated Reporting Council) に基づく

#### < 獲得できる経営成果 >





## 将来の長期戦略に融合する“価値創造ストーリー”を意識し、“真の統合思考”に基づく報告を目指す

### < 統合報告コンサルティングにおけるNRIのアプローチ >



## 社会への提供価値の抽出、非財務活動の価値創造に向けた結びつきを導出

統合思考を表現するためには、財務情報と非財務情報の結合性を明確にすることが必要となります。望ましい統合報告のためには投資家に対して、自社の価値創造を適切に伝えるストーリーを構築することが重要です。

実行段階では、社会への提供価値の抽出・特定や、非財務活動の価値創造に向けた結びつきを検討し、報告書へと落とし込みます。統合報告書制作会社等との連携により、冊子化に向けたデザイン検討を含めたサポートも可能です。

## “価値創造ストーリー”と“業種・業界”の双方の知見を結集し、クライアントをサポート

統合報告は、投資家とのエンゲージメントに際して重要性の高い領域です。効果的な検討のためには、価値創造ストーリーに関する専門的知見に加えて、業種・業界特性を考慮する必要があります。NRIは、サステナビリティサービスを手がけるコンサルタントと業種・業界専門性を有するコンサルタントが連携することで、クライアントの経営・事業に即した検討をサポートします。

### 株式会社 野村総合研究所

コンサルティング事業本部  
 東京都千代田区大手町 1-9-2  
 大手町フィナンシャルシティ グランキューブ  
<http://www.nri.co.jp>

Copyright©Nomura Research Institute, Ltd.  
 100-0005-01-1807

ご関心のある方は、詳しい説明が可能ですので、  
 下記までお問い合わせください。  
 e-mail: sustainability\_c@nri.co.jp